



子どもたちと、自然と、未来と育つ。

～白馬村で保育士になるという選択肢～



白馬村

HAKUBA VILLAGE

白馬村の紹介ともくじ

○質の高い保育を提供し続けるために

白馬村は、人口約8,500人程度の小さな村ではありますが、国内外から様々な方が観光に訪れ、それを契機に白馬村に定住し、自然の中で子育てをしたいという方が多くいます。白馬村のこどもたちに質の高い保育を提供し続けるために、一緒に働く保育士を募集しています。

私たちと一緒に白馬村の未来を育みませんか。

白馬村の保育の特長・・・・・・・・2

先輩保育士の紹介・・・・・・・・4

保育士の皆様へ・・・・・・・・6



白馬村の保育の特長①

①白馬村の豊かな自然環境を活かして

しろうま保育園は、園舎から白馬三山を望む自然豊かな環境にあり、四季を通じて自然に親しむことができます。子どもたちが五感で自然を感じ、心と体を育めるよう、屋外遊びや散歩を大切にしています。春から秋には水遊びや泥遊び、はだし保育を、冬には雪遊びを思いきり楽しんでいます。

②自園調理の給食を提供

しろうま保育園では、自園で調理した給食を提供しています。旬の食材や季節行事に合わせた献立、白馬産の野菜や味噌など地元の食材を取り入れ、食の楽しさや興味を育んでいます。



白馬村の保育の特長②

③ワークライフバランスの充実に向けて

しろうま保育園では、様々な休暇制度があります。一般的な公務員と同様の社会保障制度を適用しているため、産前・産後休暇、育児休業、療養休暇、看護休暇等はもちろん、夏休みやリフレッシュのための連続して休暇を取得できる環境を整備しています。園では計画的な休暇取得を促進するとともに、気軽に1時間単位の休暇も取得できる職場づくりに努めています。

④保育士移住支援金

県外から白馬村内に移住し、移住後、3年以上保育士としてしろうま保育園に勤務する予定がある等の一定の要件を満たす場合に、移住支援金として最大60万円を支給する制度があります。



先輩保育士の紹介

○移住した理由

北アルプスの絶景と澄んだ空気に、一瞬で心をつかまれました。

自然の豊かさ、人のあたたかさや繋がりを大切にする暮らしの中でここで生活したいと思うようになりました。

都会では味わえなかった本当の豊かさを感じます。

自然と共にある生活。五感を使って生きる日々。白馬村への移住は大きな決断でしたが、今では「この場所を選んでよかった」と思える日々を過ごしています。

大阪府から白馬村へ
姉妹で
移住しました！

しおみ なお先生
(令和6年入庁)

とうげ かな先生(平成31年入庁)
令和2年3月～令和7年3月に
産休・育休を取得



○自然保育で感じていること

自然保育の素晴らしさを実感しています。子どもたちがのびのびと自分らしく育つ環境があり、散歩に出かけると木の枝も石ころも、子どもたちの手にかかればたちまち遊び道具に。

どんなものも「おもちゃ」に変えてしまう、豊かな想像力と発想力で遊びがどんどん発展し、「自分で考える力」が自然と身についていると思います。

自然の中で育った子どもたちは元気いっぱい、パワーにあふれ、虫もカエルもみんな友だち。

小さいのちに優しく寄り添いながら、命の大切さも学んでいます。

自然から学べることも
たくさんあります！



先輩保育士の紹介

自然環境が豊かなゆえの苦勞も。
大人でも『生きるための力』が
身につく環境です。

○移住して大変なこと

白馬村での暮らしは本当に豊かで魅力的ですが、やっぱり大変なこともあります。

夏は草の成長が早くて、草刈りが思った以上に重労働。

冬は雪がたっぷり降るので、毎日の雪かきはなかなかの体力勝負です。

でも、そうした自然の手間も、この土地と共に生きていくための大切な時間。

大変だけど、そのぶん季節の移ろいをしっかり感じられる暮らしになりました。

○休日の過ごし方

大阪から両親が遊びに来てくれた時は、自然の中でゆったりと過ごしたり、

青木湖でサップを楽しんで水の上で風を感じながらリフレッシュ。

放課後はご近所の友人と自転車に乗って遊ぶ時間も特別な日常です。

そんな、心のほぐれる時間を大切にしています。



子どもたちは 白馬村の宝であり、 未来です。

白馬村の四季折々の自然に惹かれ、
ここで子育てをしたいと願う人々がこの地に集まっています。

感性豊かで純粋な子どもたちが、のびのび育つ
この環境で、保育士として一緒にその成長を
見守ってみませんか？

自然と共に生きる保育を通じて、

「白馬村の豊かさ」

を一緒に感じ、育んでいきましょう。

